

令和4年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 えるずらいふ大手 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>									
<b>(1) 理念の明確化</b>									
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「ご利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所独自理念:「ご利用者のイキルを支える介護力」。</li> <li>・介護職員のスキルアップを図り、ご利用者へのより良いサービスの提供につなげることができる。</li> <li>・在宅での生活をサポートする上で、重要な取り組みととらえています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様にとって、『イキルをタノシク』できる生活支援に引き続き取り組んでいただければと思います。</li> </ul>
<b>(2) 適切な人材の育成</b>									
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴及び事業所の理念について、その内容を十分に認識している	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に認識しています。</li> <li>・個々のスキルアップを図ることで、安心安全なサービスを提供できるとともに、この24時間サービスがご利用者にとって必要不可欠であると、認識しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通認識のもと、チームケアを実施していただければと思います。</li> </ul>
	3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレータの判断能力等）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員の資質向上を図る為、各種の配慮が出来ています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応スキルの向上について、OJT、Off-JTの機会を有効に活用していただき</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
		構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している						<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で、社内、外の集合研修は実施されていないものの、毎月ビデオ研修にて、法令順守、待遇等の個々への意識づけを行っております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>い。</li> <li>・毎月、ビデオ研修を実施する等、資質向上のための取り組みの継続は必要だと思えます。</li> </ul>
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の個性を生かすための人事に取り組んでいます。</li> <li>・自身の得意とする分野に特化し、サービスの質を上げることができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員様の個々のスキルやパーソナリティに応じた教育方法の工夫をお願いします。</li> </ul>
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、ご利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が十分に確保されている	●		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に状況に応じて、情報の共有はされている。</li> <li>・個々で気になる点や知りたい情報は確保できているが、職員全体での会議が月1回と少ない。</li> <li>・情報のとらえ方が各職員で食い違う点が多少ある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有した情報について、職種間連携を図る体制構築をお願いします。</li> <li>・「職員全体での会議が月1回と少ない」とありますが、会議の議題はどのようなものを検討されているのでしょうか。</li> <li>・情報共有は十分されていると思えます。</li> </ul>
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>									
組織マネジメントの取り組み	6	ご利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業	●		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良いサービスの提供をする為、シフトの工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠員時のフォローアップ体制について、マンパワ</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント	
			実施状況						コメント
			5	4	3	2	1		
		務・シフトの工夫) を行っている						夫をしています。 ・日によっては、職員の欠員もあり、その時には実業務職員で工夫をし対応できています。	一確保も大変かと思いますが、サービスの質を担保するため引き続き取り組みをお願いします。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている	●	●	●			・各関連事業所の意見は参考になるものばかりで、介護、看護職員へ情報の共有をしている。 ・サービス向上の為、この意見を参考にしている。	客観的意見を基にさらなる質の向上つながるよう、会議の必要性についても職員様の共通認識を図ることが大切だと感じます。
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>									
ご利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	ご利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で) 必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	●	●	●			・個人情報には特に注意しています。 ・シフト上、勤務がバラバラになる事も多いが、その都度、連絡ノート、業務日報でご利用者の情報を確認しています。	個人情報保護について倫理観も含め周知徹底をお願いします。
<b>(5) 安全管理の徹底</b>									
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）	●		●			・対策は常にしています。 ・災害時の対応をマニュアルに沿って動けるよう、常に意識しています。 ・シフト上まだ実際に訓練に参加できていないの	BCP 策定を含め、平時から有事に備えることができるよう環境整備をお願いします。

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								で、今後取り組んでいきたい。	
ご利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、ご利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>共有されています。</li> <li>外部への情報漏洩を防ぐため、随時管理されています。</li> <li>守秘義務に基づき、管理運営されています。</li> </ul>	個人情報保護の具体的な対策や管理方法について明記があると良いかと思います。
<b>II 過程評価 (Process)</b>									
<b>1. ご利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(1) ご利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
ご利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	ご利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>日によって変化しているご利用者への対応が出来ている。</li> <li>関係各所の意見も取り入れ、その都度対応が出来ている。</li> </ul>	チームアプローチで対応出来ていると思います。 ・利用される方のお気持ちを第一に考えていると思います。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期巡回介護・看護一体型の特性を生かし情報の共有が迅速に行われている。</li> <li>連絡を取り合い、その状況に取り組んでいる。</li> </ul>	介護・看護連携を図り、多職種連携で課題解決に取り組むをお願いします。
ご利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた	13	ご利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>そのご利用者の出来る事、出来ないことを評価・把握し、サービスに役立</li> </ul>	自立支援の視点でストレングス、エンパワメントへのアプローチをお願いします

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
「未来志向型」の計画の作成								<p>てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PT等の意見も取り入れ身体機能の向上を図っている。</li> </ul>	<p>します。</p>
	14	<p>重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、ご利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている</p>	●		●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者のこうしたい、こうありたいの声を尊重し、各関係者との協議を行っている。</li> <li>・予測するも、その方法が適切だったのか、考えさせられる時がある。</li> </ul>	<p>予後予測やリスクマネジメントの視点で重度化防止に向けた支援をお願いします。</p>
<b>(2) ご利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>									
<p>計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供</p>	15	<p>計画上のサービス提供日時以外であっても、ご利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定する等、柔軟な運営に努めている</p>	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急コールにも対応随時訪問している。</li> <li>・ご利用者、ご家族との要望を確認し、ケアマネジャーとの連携を図りプランの見直しを行っている。</li> <li>・他ご利用者の利用時間が重なる場合があり、苦慮する事もあり、その都度同意を求めて訪問時間の調整を行っている。</li> </ul>	<p>緊急コール対応はととても大変かと思いますが、ニーズと優先度、緊急度を関係者間での打ち合わせのもと、必要な対象者へ支援できるよう体制整備をお願いします。</p>
<p>継続したモニタリングを通じたご利用者等の</p>	16	<p>サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、ご利用者等の状況変化の早期把握</p>	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にモニタリングを行い職員に情報の共有と、</li> </ul>	<p>サービス実施の評価を行い質の向上に活用してく</p>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
状況変化の早期把握と、計画への適宜反映		と、計画への適宜反映が行われている						ケアマネージャーへにも報告している。 ・職員には、連絡ノートでの連絡を行い、情報の共有を行っている。	ださい。
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>									
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	●	●	●			・専門性を活かした役割分担が出来ている。 ・時に介護、看護と協力し同じ目的を持ち連携作業を行っている。	職種間のスムーズな連携を継続してください。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復等の観点から、指導、助言が行われている	●	●	●			・ご利用者の状態により看護師からの指示がある。 ・状況に応じて指示があり、実行している。	看護師からの指導・助言を他の利用者様へのケアにも活かせるよう、ケーススタディの継続をお願いします。
<b>(4) ご利用者等との情報及び意識の共有</b>									
ご利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、ご利用者等に本サービスが「ご利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	●		●			・ご利用者のご家族へサービスを提供する為の説明を行っております。 ・サービスの説明をしていますが、勘違いされているご家族も見受けられその都度誤解の無いようにしている。 ・何でもしてくれると思	理解や判断が難しい方へのアプローチや意思決定支援について、説明に対する合意形成を丁寧に行い、齟齬が生じることのないよう、合意形成、意思決定のあり方についてご検討ください。 ・利用者、家族への説明が

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								<p>っているご利用者も少なくない。そのため繰り返し説明を行うが、理解出来ていないかたもいる。</p> <p>難しいことと思いますが、工夫されていることがあれば教えていただきたいです。</p>	
ご利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、ご利用者等に十分な説明を行う等、共通の認識を得るための努力がされている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めにこれからのサービスの内容を説明している。</li> <li>・新しいサービスを提供するときなど改めて声かけ等している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通したケアはご利用者様の安心感につながり、ケアのエチケットにもなり得るものがケアプランです。引き続き、共通認識の徹底をお願いします。</li> </ul>
	21	ご利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画作成責任者を通じて、ご家族へご利用者の現在の状況変化に対するサービス内容の変更を連絡している。</li> </ul>	<p>〃</p>
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的管理</b>									
<b>(1) 共同ケア管理の実践</b>									
ご利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、ご利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・都度情報の提供がされている。</li> <li>・現在のご利用者の状況を連絡し、それに合ったサービス内容を検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムリーな情報共有の継続をお願いします。</li> </ul>
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォー	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーとの連携の中で、ご利用者の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の互助力、インフォーマルサポートについて</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
		マル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている						状況を報告、そのための支援プランの提案がされている。 ・日頃の変化を報告し今後の支援プランに反映している。	の情報収集と把握をお願いします。 ・地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等提案された事例があれば教えていただきたいです。包括としても情報提供できるよう、社会資源の収集に努めていきます。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、ご利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	●	●	●			・サービス担当者会議には、必ず参加しています。 ・サービス担当者会議において、各関係事業所からの意見を取り入れ今後の支援プランに役立てている。	・目標やケアの共通認識を図る大切なプロセスとなる担当者会議の有効活用をお願いします。
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>									
ご利用者の在宅生活の継続に必要な、ご利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	ご利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている	●	●	●			・自立支援を心がけております。 ・必要に応じてご理解を得られれば、サービスの提供を行います。	・インフォーマルサポート等、ご利用者に必要な支援についても自己選択できるよう情報提供をお願いします。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際等に、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じ			●	●		・コロナの影響もあり直接的な情報の共有が出来ていない。	・コロナ禍での情報共有や連携、検討方法について、ICT活用等工夫を行

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
		て多職種による検討や情報の共有が行われている						<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院前カンファレンス等の開催が実施されていない。</li> <li>・ケアマネージャーへ連絡を取り情報の共有、そして支援内容を決定している。</li> </ul>	い、ケアに必要な情報取得に努めていただければと思います。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域におけるご利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・他職種間との連携を図り、情報の共有が出来ている。</li> <li>・個々の役割を把握し、関係各所の情報を取り込み支援内容に役立っている。</li> </ul>	・多職種連携はより良いケアに欠かせないため、それぞれの専門性を活かした連携強化をお願いします。
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>									
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>									
介護・医療連携推進介護の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速に行われています。</li> <li>・各職員の目の届く範囲に記録を閲覧出来るようにしている。</li> <li>・事例を介して、意見を頂いている。</li> </ul>	・地域密着型サービスの機能についての共通認識を図ることができるよう今後も努めいただければと思います。
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な発信はされているが、どれほど周知されているか確認が必要。</li> <li>・コロナの影響により、外</li> </ul>	・事業所の機能や役割について広く周知するための工夫について検討をお願いします。

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	外部評価 コメント
			実施状況						
			5	4	3	2	1		
								部との連携が手薄に感じられる。	・地域住民や関係機関が情報を得られるような方法があれば教えてほしいです。
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>									
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解しています。</li> <li>・職員によっては理解出来ていない人もいる。</li> <li>・事業所で、把握、認識できるようなシステムを構築し発信して行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険事業計画について、全ての把握は難しいと思いますが、地域密着型サービスは地域包括ケアシステム構築に欠かせないサービスでもありますので、周知工夫をお願いします。</li> <li>・包括としても地域包括ケアシステムについて普及啓発をしていきます。</li> </ul>
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		●	●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・志向されています。</li> <li>・行動範囲を限定せず地域への貢献を図っていく。</li> <li>・今は、範囲外でのサービスは実施されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型サービスとして、サービス提供地域を中心に地域密着した事業展開の継続をお願いします。</li> </ul>
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に			●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点の共有は心がけているが、実際そこに対して行動等は出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな期間と連携し、地域づくりへの参画をお願いします。</li> <li>・今後、具体的な課題や改</li> </ul>

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価 コメント	
			実施状況						コメント
			5	4	3	2	1		
		応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている						善等の提案がある際には、包括支援センターとしても一緒に検討していきたいです。	
<b>Ⅲ 結果評価 (Outcome)</b>									
サービス導入後のご利用者の変化	33	サービスの導入により、ご利用者ごとの計画目標の達成が図られている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の達成を目指し取り組んでいる。</li> <li>・大旨達成できている。</li> <li>・ご利用者との関わり合いを強く意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成できた目標を職員のみならず共有し、他のケースの支援にも活かす取り組みをお願いします。</li> </ul>
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、ご利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたたちのおかげで助かっています。ご利用者及びご家族から言われました。</li> <li>・24時間サービスとすることで安心感も提供できている。</li> <li>・随時、必要に応じてプランの見直しは、ご利用者にとって満足していただける要因と思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活の限界点を引き上げる重要なサービスの位置づけでもありますので、ご本人にとっての安心感、ご家族にとっての安心感を得られるケア提供を引き続きお願い致します。</li> </ul>